

高松市立庵治第二小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

確かな学力を身につけ、豊かな心を持ち、心身ともにたくましく生きる児童を育成する

【子ども像】 考えやりぬく子 思いやりのある子 たくましい子

【本校の課題】

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査の値が低く、長座体前屈以外は、県・全国平均を大きく下回っている。

○1週間の総運動時間が全国平均を下回っている。

○運動をすることの楽しさを感じたり、進んで体を動かそうとする意欲をもったりする機会が少ない。

【現状】 休み時間は、読書して過ごすことが多い。体育の授業にはまじめに取り組むが、友達と一緒に体を動かす機会が少なく、「体育が楽しい」という感覚を味わわせにくい。生活が単調になりがちで、多様に体を動かすことが少ない。運動場の整備が行き届いておらず、外遊びがしにくい。日課表に、体を動かす時間を設定しても、教師の強い働きかけがないと実施することが難しい。

【取組み】

毎週火曜日に

「Sport time」の実施

毎週火曜日の昼食後に「Sport time」を設定し、教師も一緒にバドミントン、バレーボール、ソフトボールなど一人ではできないような多様な運動を行う。

環境・機会づくり

ボール、マット、跳び箱等を体育館のまわりに置いて、いつでも使えるようにする。体育の授業の始めに、運動会の種目で練習し、まだできるようになっていない倒立、肩倒立、ブリッジなどを行うようにする。

交流学习での意欲化

庵治小学校の運動会に参加させてもらうなかで、組み体操や騎馬戦などを経験させる。また、毎週水曜日の交流学习で体育の授業に参加する。業間マラソンを継続し、庵治小学校のマラソン大会や地域の方に応援してもらえる大島マラソン大会で、良い結果を出し自信がもてるようにする。

「こつ伝授」の活用

体育の授業の一部を市小学校体育研究会発行の「こつ伝授」の冊子を活用した運動をする時間にあてる。

【目標】

○長座体前屈以外で、いずれかの項目が県平均になるようにする。

○児童が自分の好きなスポーツを見つけることができるようにする。

○「運動がきらい」という意識から「運動がややすき」という意識への変容を図る。